

平成30年度 図書館利用者と館長との懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)～

【対応状況・凡例】

- ◎ 現在対応済みの項目
- 早急に対応を行う項目
- 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目
- － 対応が困難な項目

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	「読書通帳」は保護者にとっては、子どもの成長の記録となる。大人用も自分を知る良い機会となる。「一人ひとりにとって心地よい」図書館を実現するにあたり有効なツールの一つとなるのではないかな。	図書館としては、夏休み期間中に実施していた「へいわだいとしょかん 本をかりようスタンプ」および「平和台図書館しらべるクイズ」が、「読書通帳」に類したものと捉えていましたが、当事業内容を精査し、より利用者にとって満足度の高い事業の実施を目指します。	□
2	貸出者数・来館者数データを集計して、年齢・性別などから、蔵書構成を再考してみてはいかがかな。またイベント参加者の統計データも活用できるのではないかな。	図書館の蔵書構成は極端な偏りがないように配慮して、また予約受付数なども参考に選書発注しております。今後は選書および行事計画立案に際し統計データの活用も検討します。	□
3	館内にある、ちょっと座れるイスを増やしてほしい。	館全体としての席配置を再考し、利用者が一層くつろぐことのできる席配置を検討します。	◎
4	館外掲示板に全ての行事が掲載された月間カレンダーがあるとよい。	館内配布している『へいわだいだより』には同内容のカレンダーが掲載されています。今後は、一目で館全体の月間行事予定が把握できるカレンダーを作成し、館外掲示板に掲示することを検討します。	○
5	会議室利用団体の制作物を館内に展示したら、活動のPRおよび団体同士の交流の良い機会となるのではないかな。	会議室の利用促進・地域の団体の活性化を目指すうえでも、効果的な手段と捉えています。好評をいただいている館内展示の一つとして実施を検討します。	□